

日本英学史学会 中国・四国支部
令和5年度 総会・第1回 (通算87回) 研究例会

日時： 2023年5月27日(土) 13:00 受付開始
会場： サテライトキャンパスひろしま (対面実施)
広島市中区大手町1-5-3 広島県民文化センター5階
(Zoomによるオンライン同時配信を行います)
参加費： 会員、非会員とも無料

支部総会 (13:20~13:50)

議長選出、令和4年度活動報告・会計報告・会計監査報告、令和5・6年度役員選出、
令和5年度活動計画、ほか

開会行事 (14:00~14:05) 支部長挨拶

研究発表 (14:05~15:15)

「英学第2ブームにおける単語集の研究: イロハ配列の系統に焦点をあてて」

熊谷 允岐 (茨城大学)

【概要】本研究は、明治中期に出版されたイロハ順に見出し語が配列された単語集群に焦点を当て、それらがどのような影響関係に基づいて編纂されたかを分析することで、日本における英語語彙学習教材史の一端を解明することを目的とする。イロハ順は、その性質上、辞書に採用されることの多い配列法だと従来言われているが、本発表では単語集に導入された事例を紹介する。また、明治中期以降に初めて登場した系統のイロハ配列の英学書にも言及しながら、それらが当時の単語集にどのような影響を与えたかについて報告を行う。

聴衆参加型座談会 (15:30~16:40)

「英語教育雑誌をめぐって」

コーディネータ 河村 和也・馬本 勉 (県立広島大学)

【概要】2020年から2021年にかけて、広島文理科大学英語英文学研究室/英語教育研究所 編『英語教育』が復刻された(〔監修〕江利川春雄〔改題〕江利川春雄・上野舞斗、ゆまに書房)。わが国で最初に「英語教育」と名付けられた英語教育雑誌である。これを機に、本支部で発表された論考などから、さまざまな英語教育雑誌の歴史を振り返ってみたい。そして、英語教育雑誌が果たしてきた役割について、参加者の経験談を交えて議論したい。昨年度好評を博した「ラジオと英語」をめぐる座談会の第2弾として、活発な情報共有と意見交換の場となればと願っている。

閉会行事 (16:45~16:50) 副支部長挨拶

懇親会（17:30～19:00）

広島酒呑童子（広島市中区大手町1-4-25）にて対面開催

会費 5,000 円

令和5年度支部総会・第1回（通算87回）研究例会・懇親会の参加の申し込みについて

5月24日（水）までに、電子メールにてお申込みください。（メールアドレス eigaku@tom.edisc.jp）

支部総会・研究例会は、ハイフレックス形式で行いますので、ご参加形態（対面・オンラインのいずれか）をお知らせください。オンライン参加の方には追ってZoomのURLをお知らせします。なお、今回の懇親会は対面のみとなりますのでご了承ください。